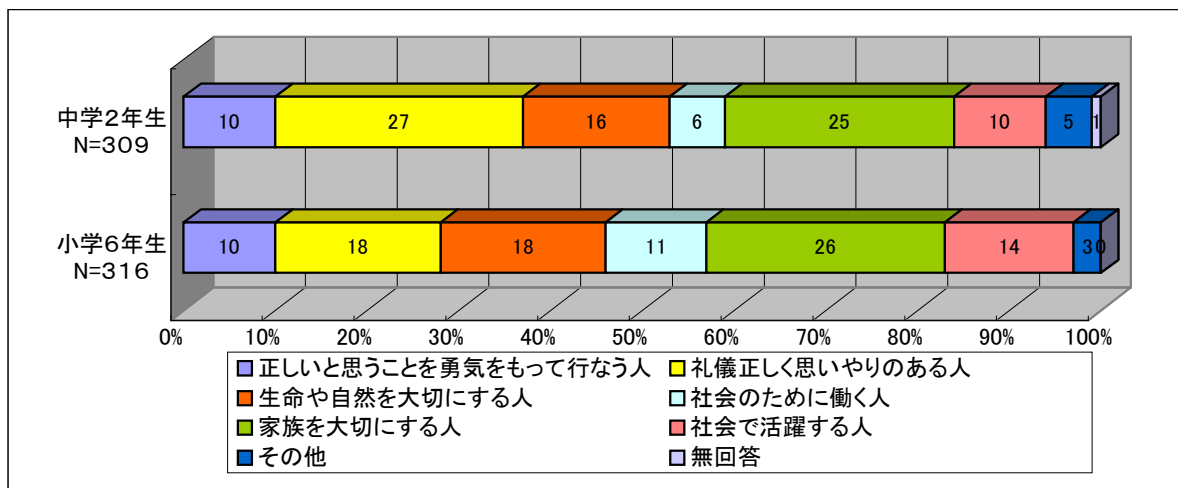


## 小・中学生の意識調査結果

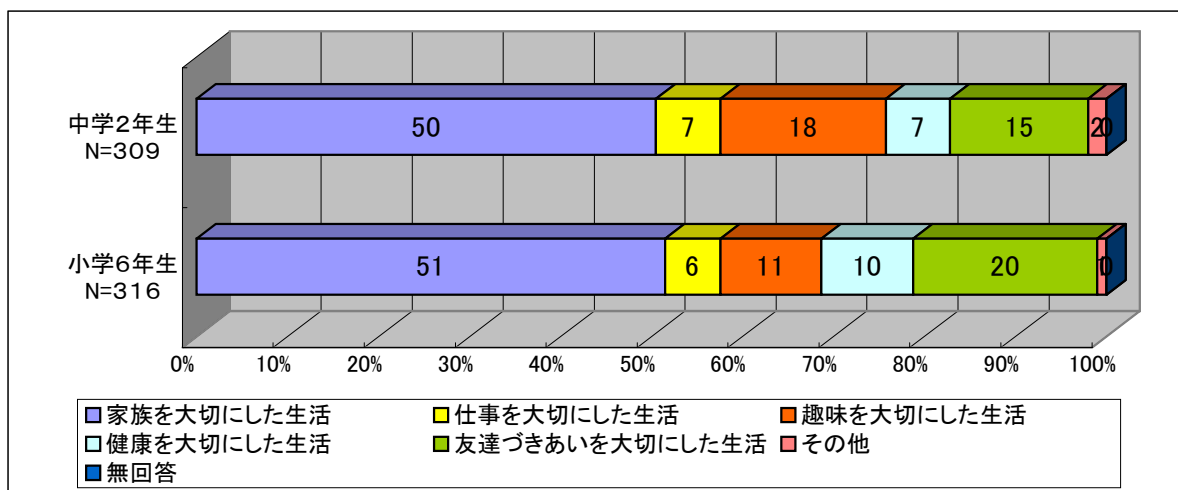
小学6年生	有効回答数	N =	316
中学2年生	有効回答数	N =	309

設問 1 - ( 1 ) 将来どんな大人になりたいか



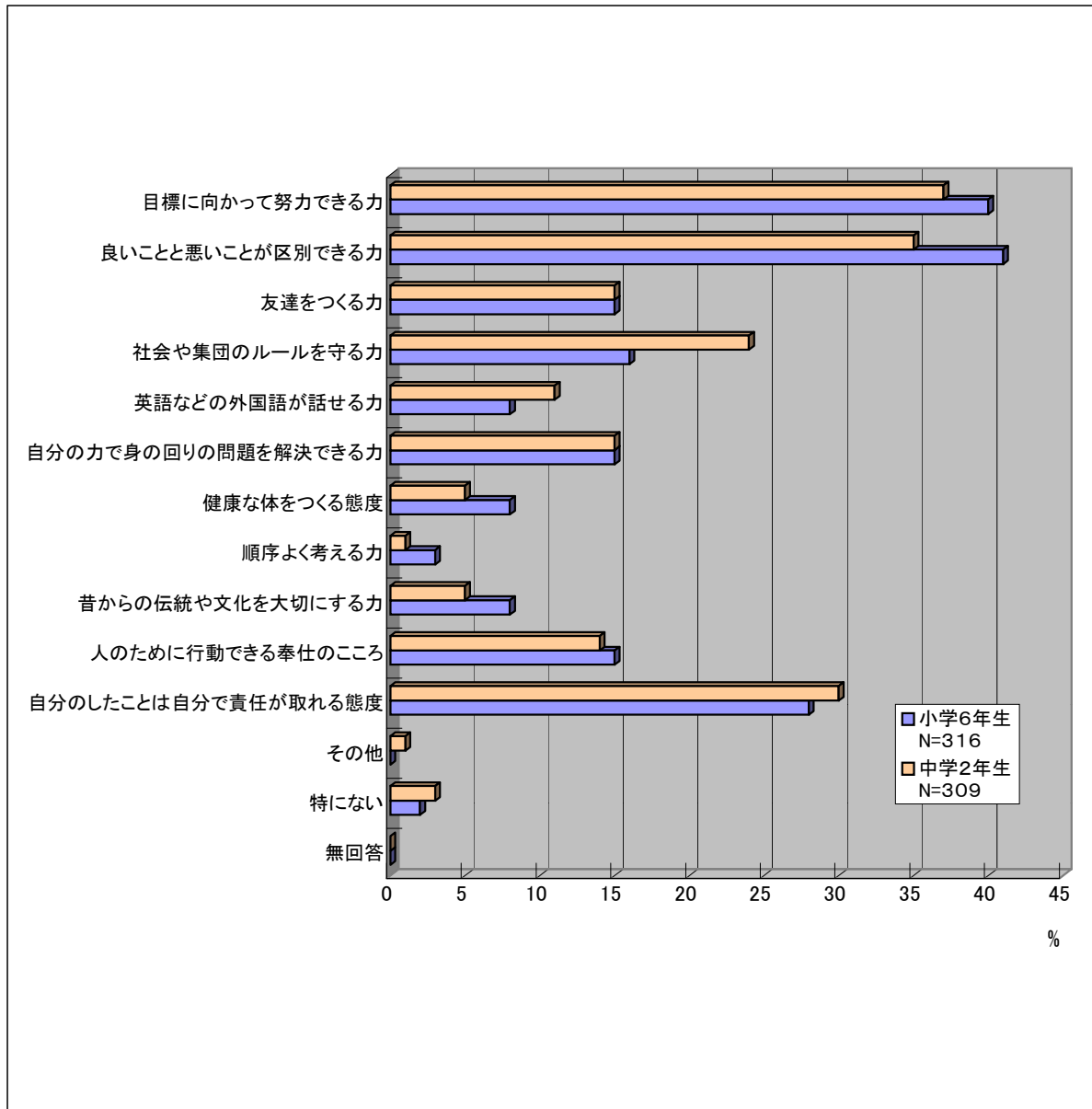
「礼儀正しく思いやりのある人」「家族を大切にする人」の回答の割合が高い。中学生では、「礼儀正しく思いやりのある人」、小学生では、「家族を大切にする人」が最も多く、「社会のために働く人」「社会で活躍する人」と回答した児童生徒は、それぞれ1割程度であった。

設問 1 - ( 2 ) 将来、どんな生活をしたいか



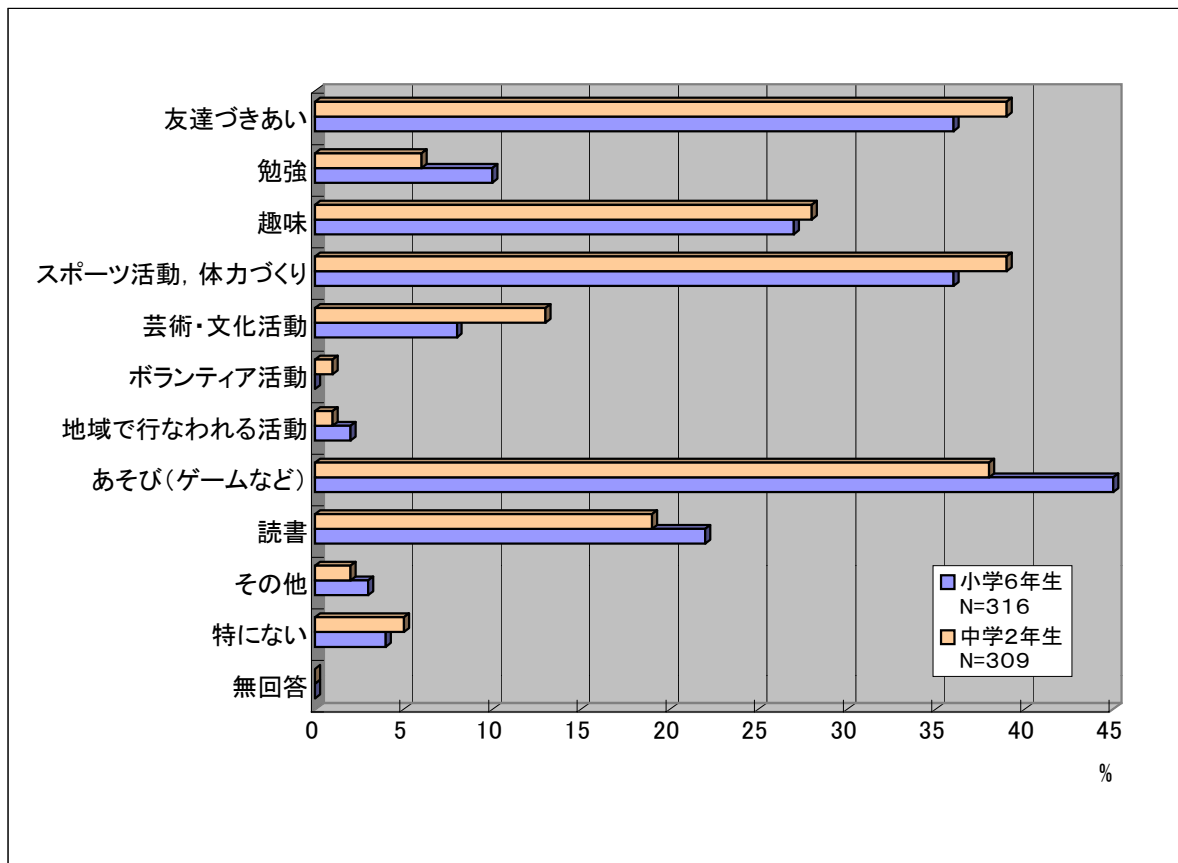
家族や友達など身近な人間関係を大切にしたい生活の回答の割合が高い。小中学生ともに、約半数が将来は「家族を大切にしたい生活」を望んでいる。「仕事を大切にしたい生活」は1割に満たない。

設問 1 - ( 3 ) これからの社会を生きるために必要な力【複数回答】



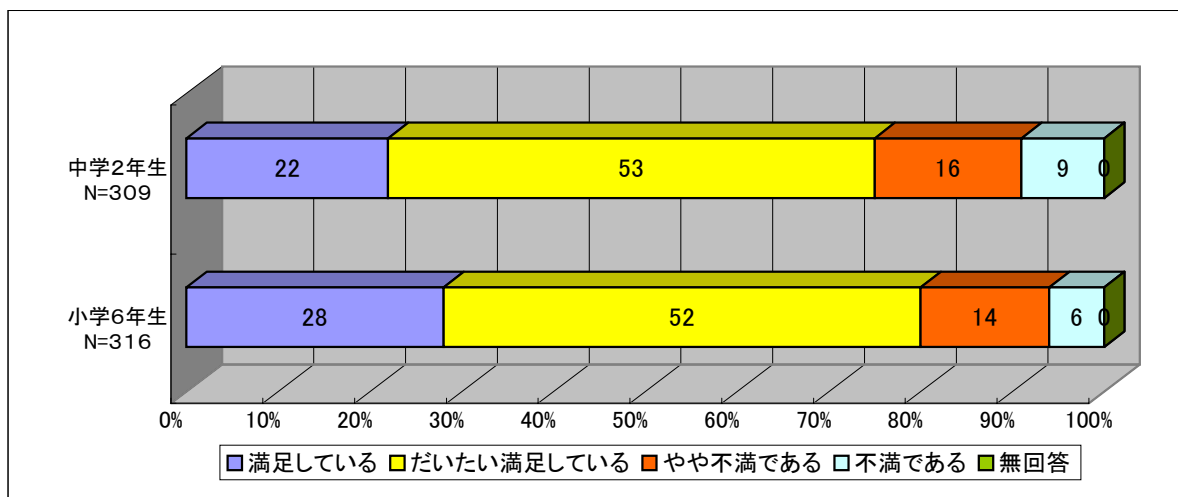
小中学生とも、「目標に向かって努力できる力」「良いことと悪いことが区別できる力」「自分のしたことは自分で責任がとれる態度」が重要であると考えている。  
 全体的に、小中学生とも同じ傾向を示している。

設問 1 - ( 4 ) 今、夢中になっていること【複数回答】



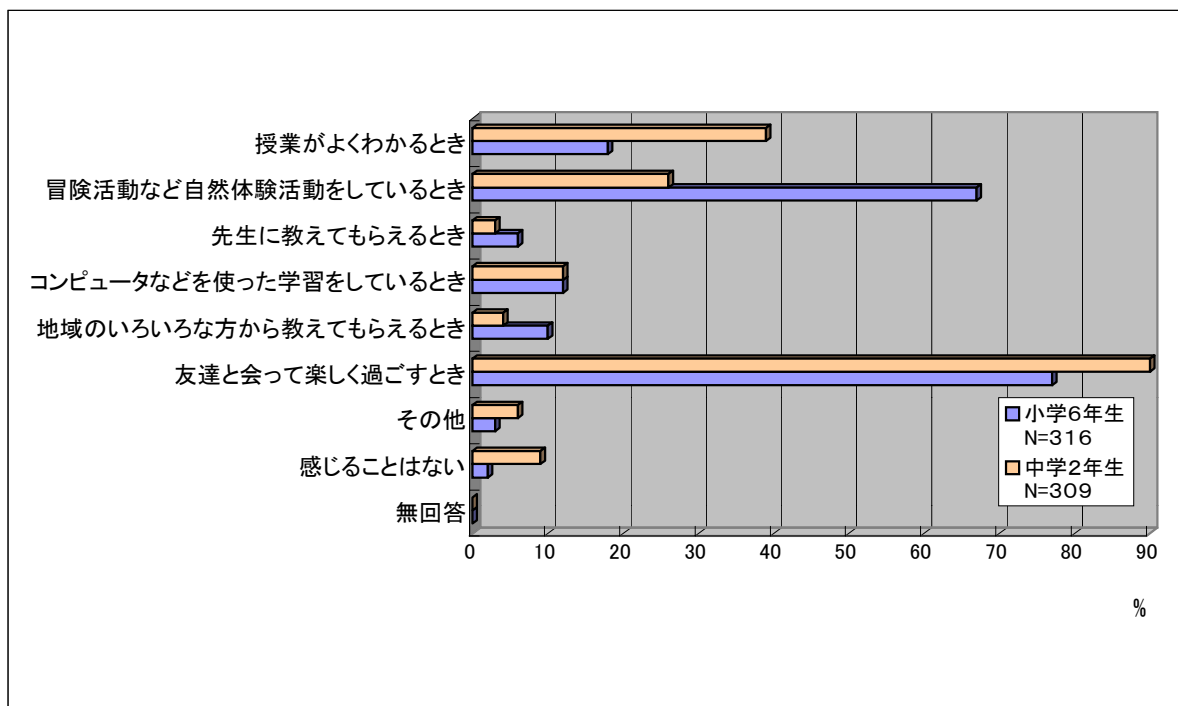
小中学生とも「友達づきあい」「スポーツ活動」「あそび(ゲームなど)」などに夢中になっている回答が多い。  
全体的に、小中学生とも同じ傾向を示している。

設問 2 - ( 1 ) 今の学校生活に満足しているか



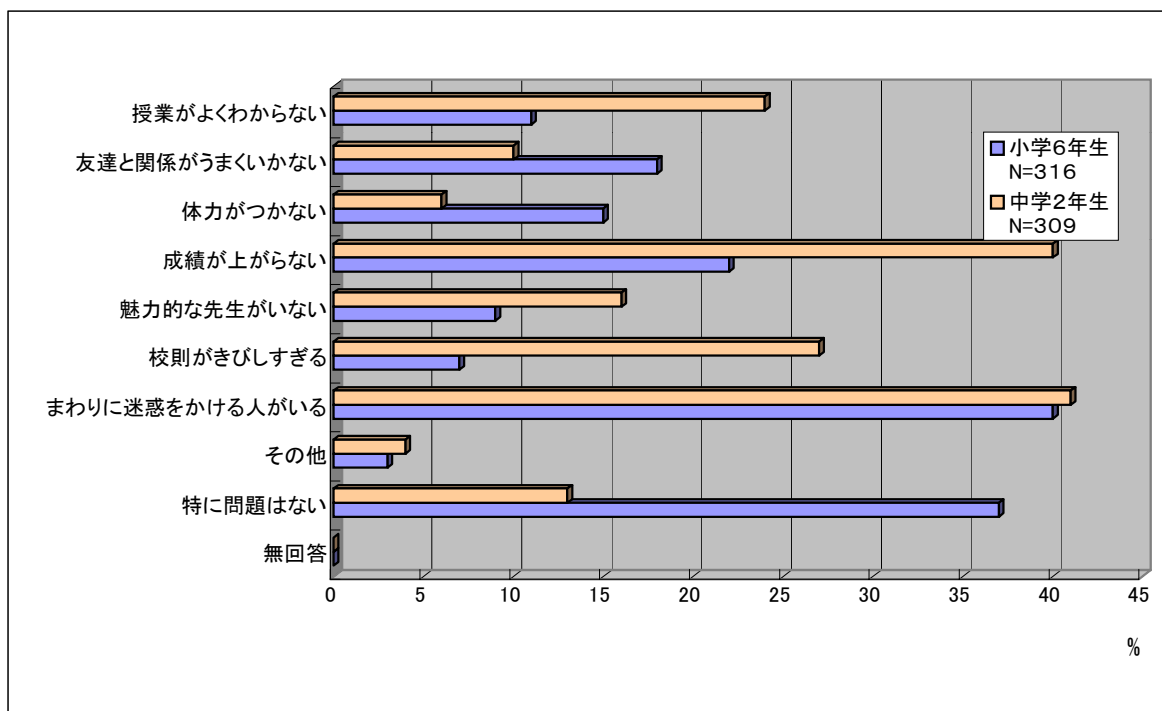
学校生活に満足しているとの意見が多数を占める。  
中学生は約7割、小学生では8割が「満足」「だいたい満足」と回答している。

設問 2 - ( 2 ) 「学校にあってよかった」と感じる時【複数回答】



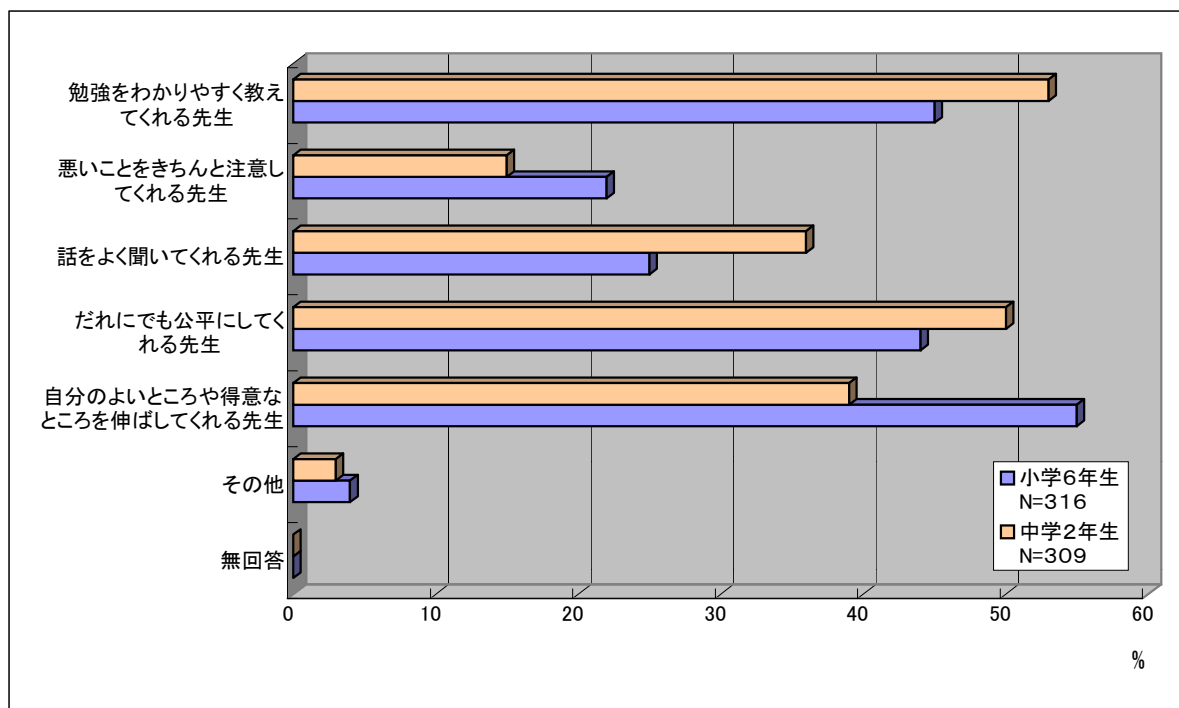
小中学生ともに「友達と会って楽しく過ごす時」が最も多い。  
小学生では、「自然体験活動をしている時」が約7割あり、中学生に比べ多い。中学生では、「授業がわかる時」が約4割を占めている。

設問 2 - ( 3 ) 今の学校で問題と思うところ【複数回答】



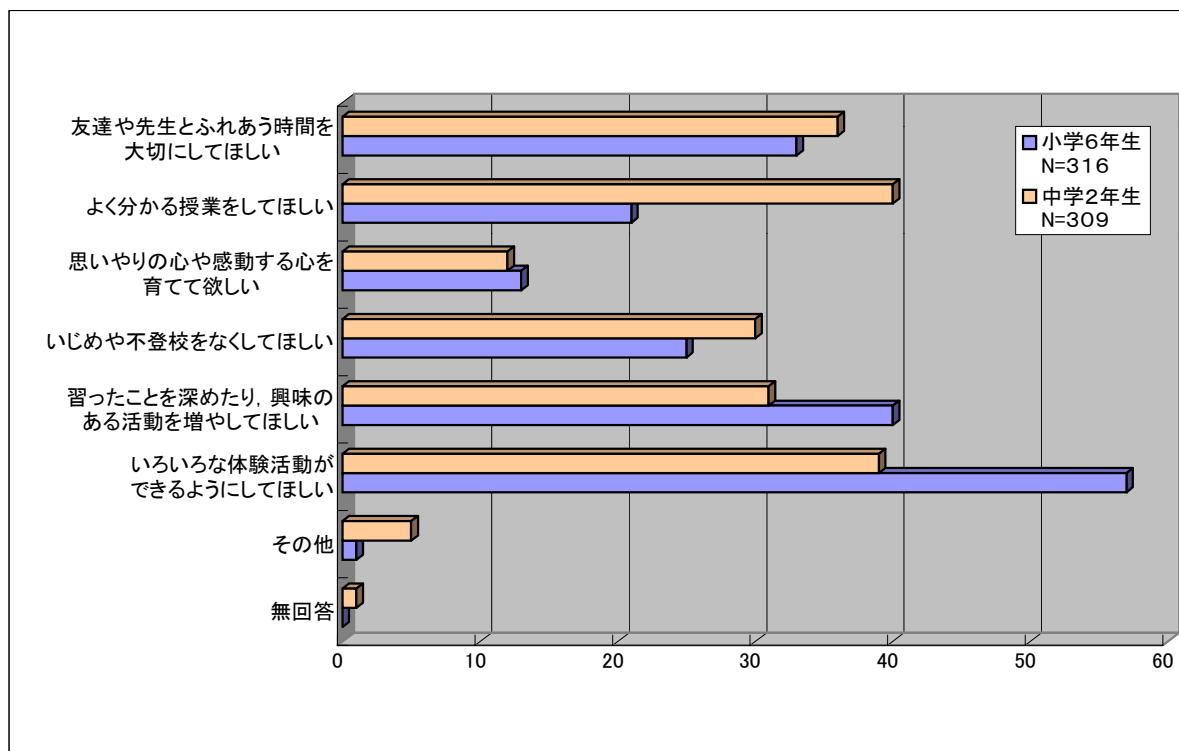
小中学生とも「まわりに迷惑をかける人がいる」が最も多い。  
次いで、小学生では「問題ない」が多く、中学生では学習に関する問題点を指摘する回答が多い。

設問 2 - ( 4 ) 理想とする先生像は【複数回答】



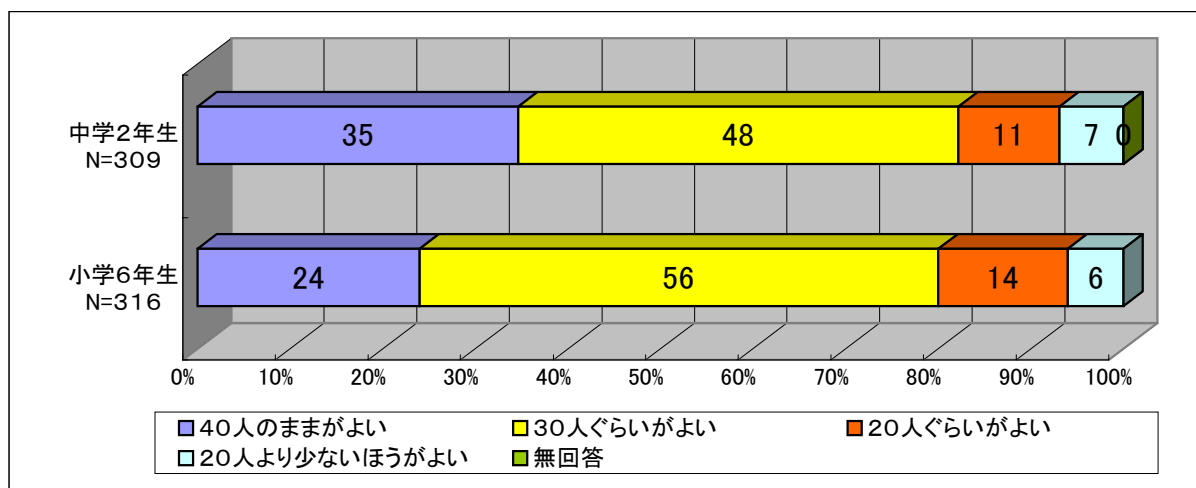
小学生では「得意なところを伸ばしてくれる先生」、中学生では「勉強をわかりやすく教えてくれる先生」が最も多い。  
小中学校で、理想とする先生像に大きな差はない。

設問 2 - ( 5 ) 学校に望むこと【複数回答】



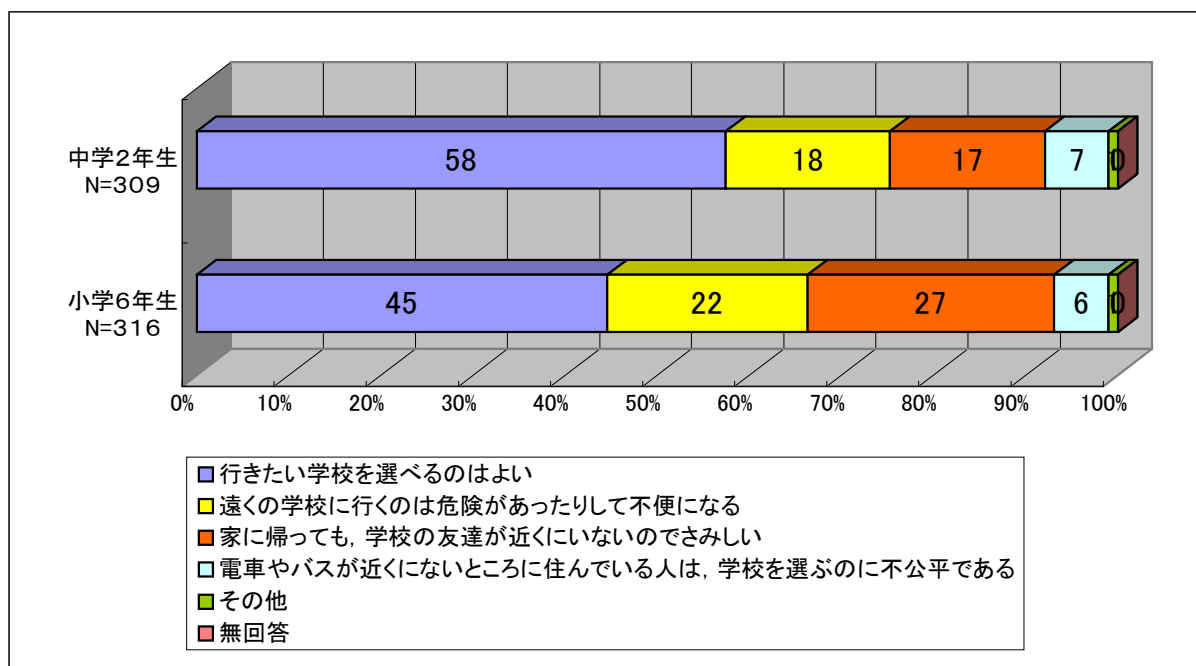
小中学校とも体験活動を望んでいる割合が高い。  
小中学校とも「いろいろな体験活動ができるように」と望んでいる。  
次いで、小学生は、「習ったことを深めたりする活動」を、中学生は、「よくわかる授業」を望んでいる割合が高い。

設問 2 - ( 6 ) クラスの人数は何人ぐらいがよいか



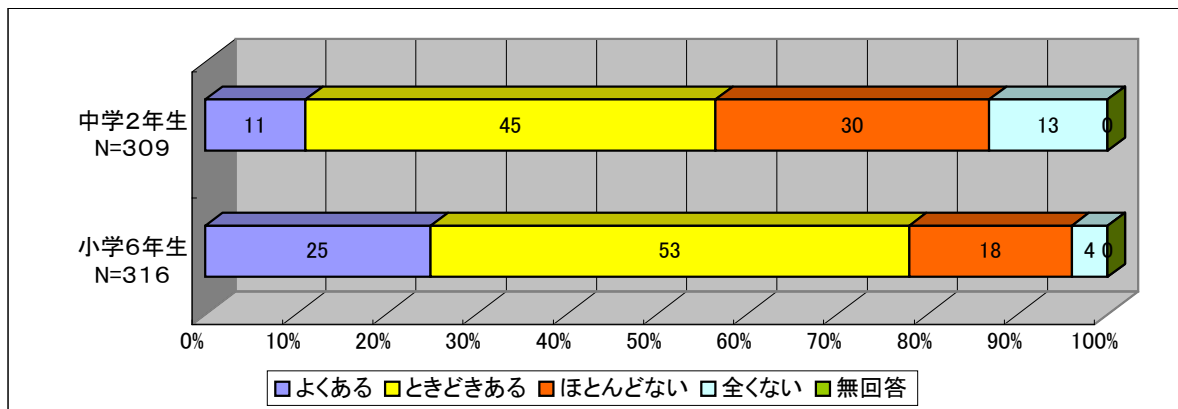
小中学生ともに，約半数が30人程度のクラス編制を望んでいる。

設問 2 - ( 7 ) 学校選択性の是非



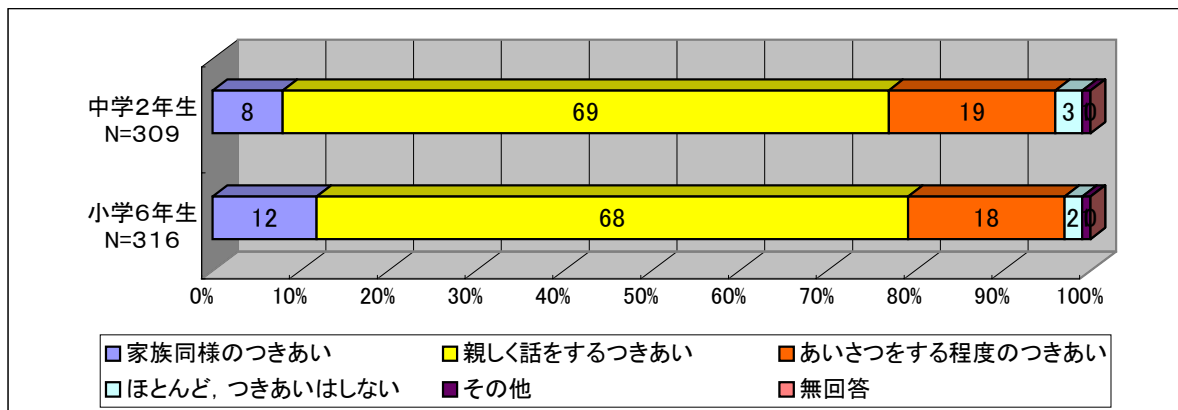
中学生は，「学校を選べるのはよい」とする回答が約6割であるが，小学生では，肯定的な意見と否定的な意見に分かれている。

設問 3 - ( 1 ) 近所の大人と話す機会の有無



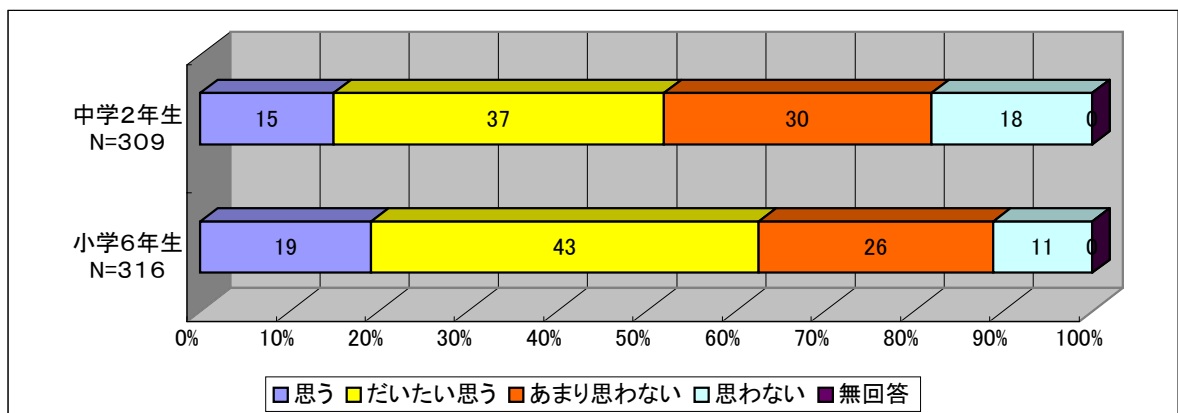
小中学生とも、近所の大人と「よく」または「ときどき」話すとの回答が過半数である。  
 ただし、中学生で5割強、小学生で約8割であり、中学生になると減少する傾向が見られる。

設問 3 - ( 2 ) 大人になったら、どんな近所づきあいをしたいか



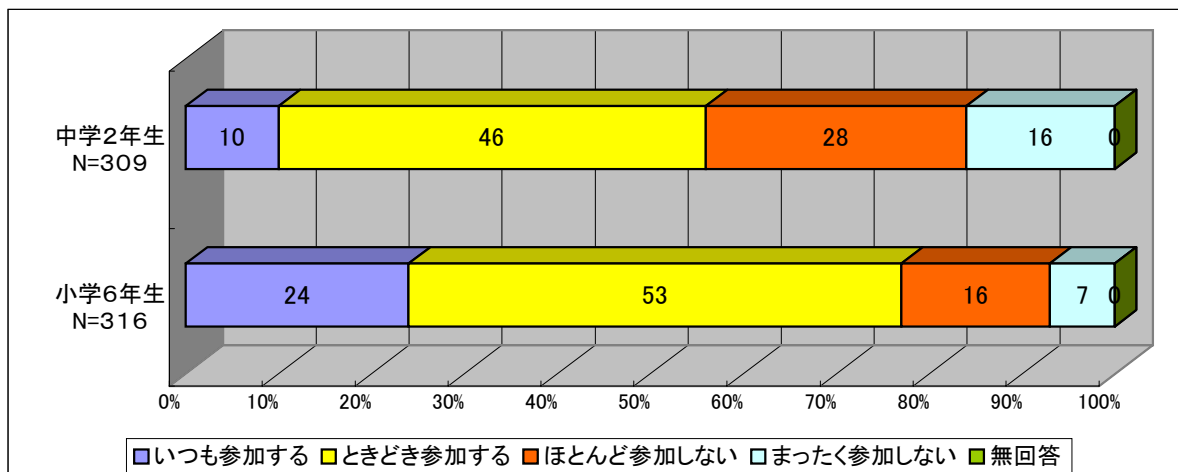
小中学生とも、約8割が近所と「親しく話しをするつきあい」を望んでいる。

設問 3 - ( 3 ) 住んでいるところは、地域活動が活発か



小中学生とも、半数以上が地域活動が活発と思っている。  
 特に、小学生は6割を超える児童が、活発と思っている。

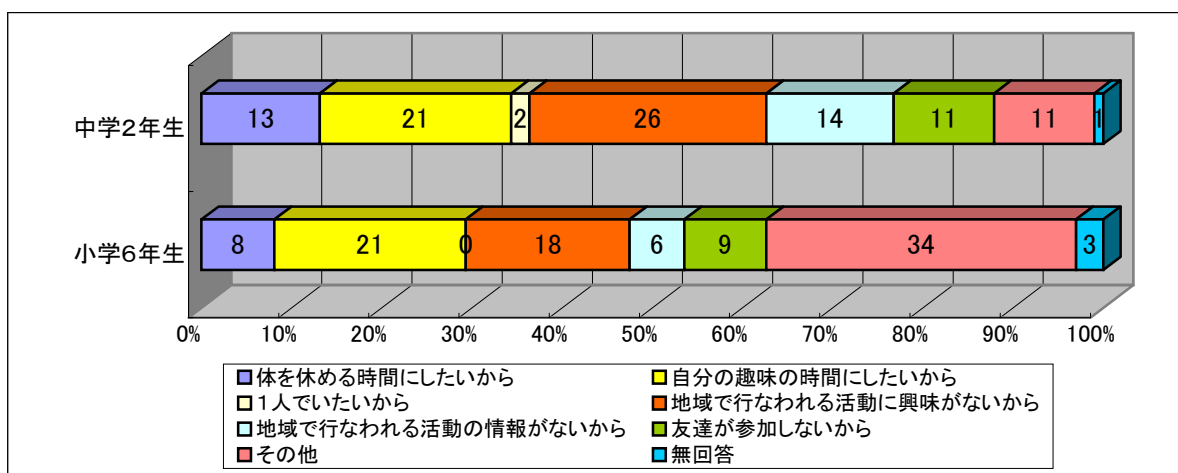
### 設問3 - (4) 地域活動に参加した経験



小学生の約8割の児童が地域活動に参加したことがある。  
小学生で約8割，中学生でも5割を超える児童生徒が地域活動に参加している。

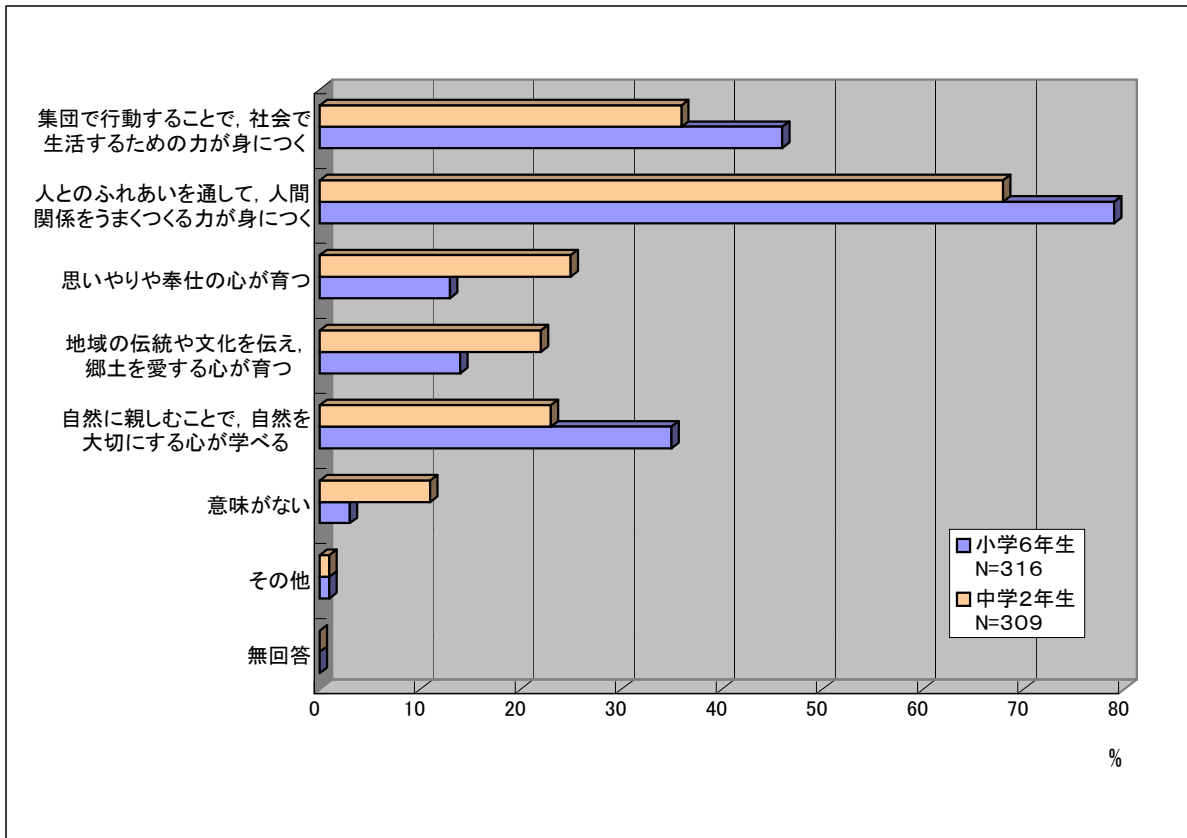
### 設問3 - (5) 参加しない(できない)理由

(設問3 - (4)で「いつも参加する」と回答した以外の方のみ回答)



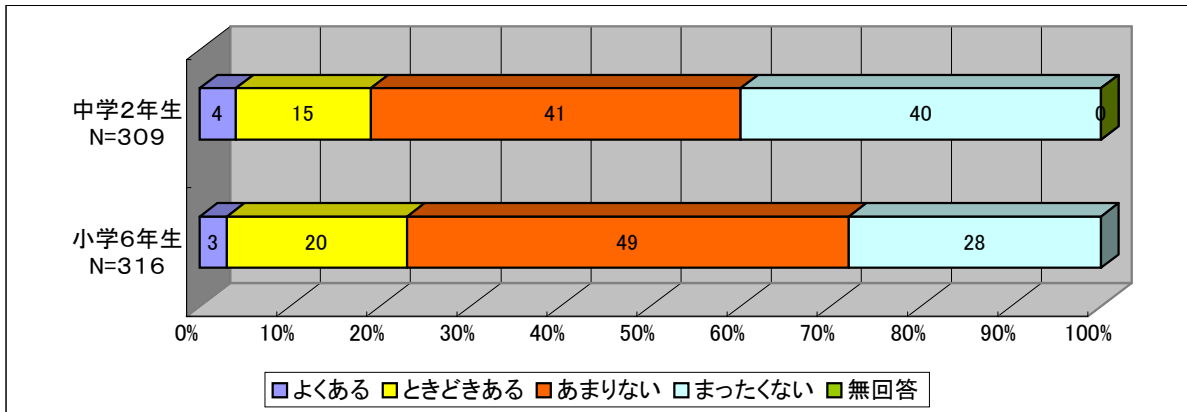
参加しない理由は様々であるが。「興味がないから」「自分の趣味の時間にしたいから」とする回答が比較的多い。  
中学生の3割弱，小学生の約2割が「興味がないので参加しない」と回答している。

設問3 - (6) 地域活動の意義【複数回答】



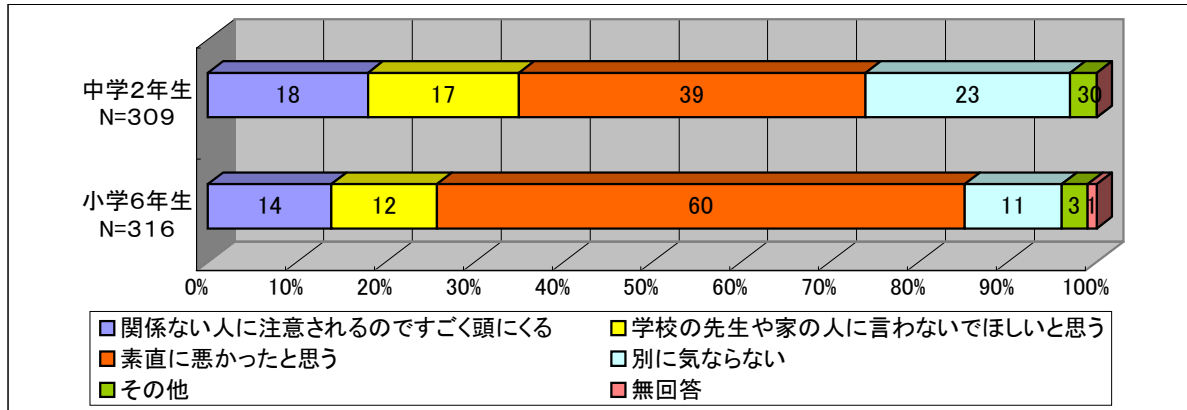
地域活動の意義は、社会性を身につけるためだと考えている小中学生が多い。小中学生ともに「人間関係をつくる力が身につく」が最も多く、次いで、「社会で生活するための力が身につく」となっている。

設問3 - (7) 近所の大人に注意された経験



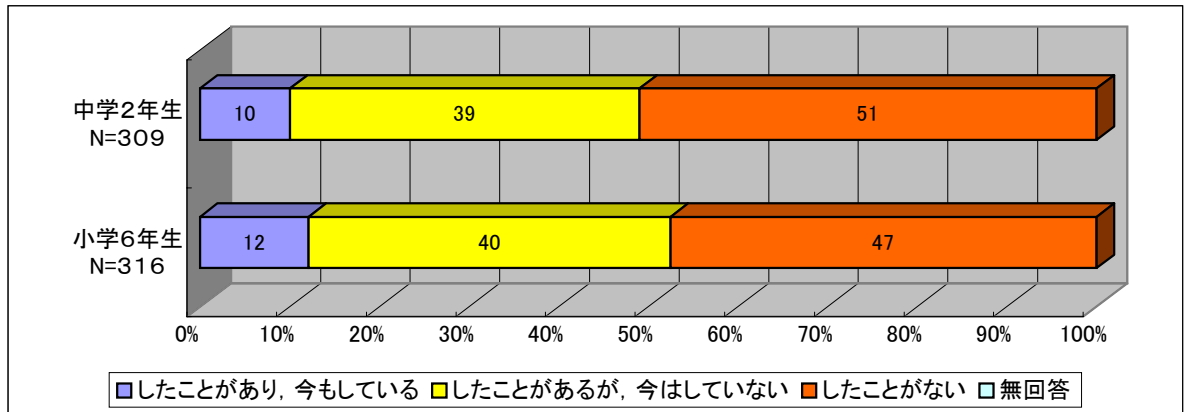
「近所の大人に注意されない」との回答が、約8割である。小中学生とも約8割が近所の大人に注意されることは「あまりない」「まったくない」と回答している。

設問 3 - ( 7 ) 近所の大人に注意された時の気持ち



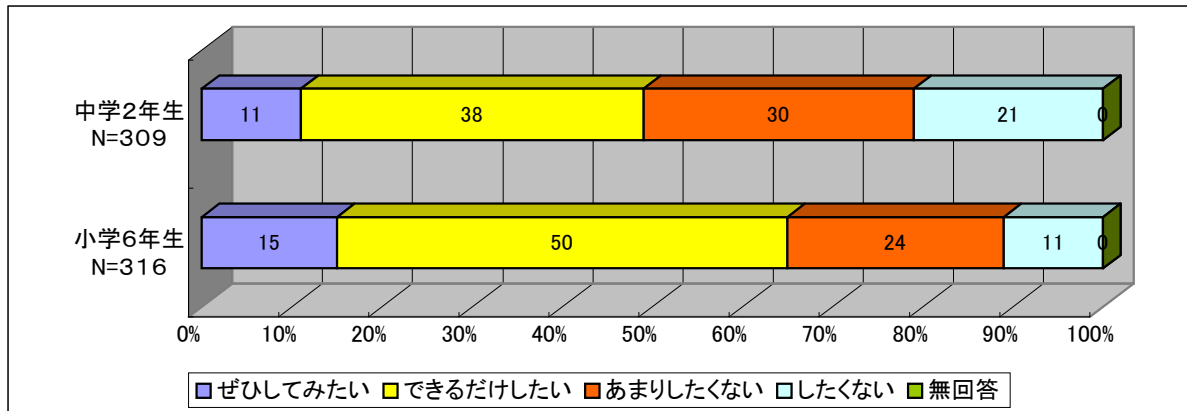
注意を肯定的に受け止める回答が多い。  
 小学生で6割，中学生で約4割が「素直に悪かった」と受け止めている。  
 ただし、「頭にくる」など否定的に受け止める児童生徒も約2割いる。

設問 4 - ( 1 ) ボランティア活動の経験の有無



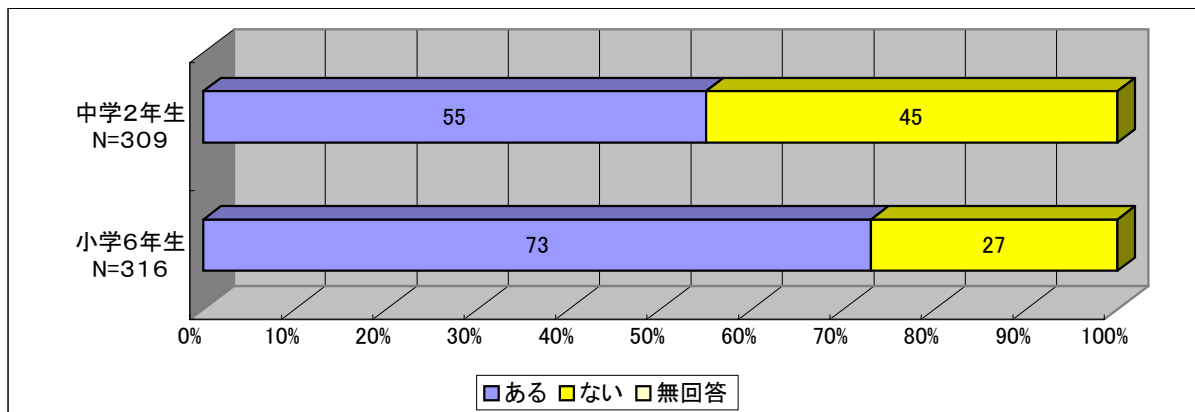
小中学生ともに，約半数がボランティア参加の経験をしている。  
 小中学生で約5割がボランティア活動の参加経験があり，1割が現在も活動している。

設問 4 - ( 2 ) ボランティア活動への意欲



小中学生とも約5割がボランティア活動をしてみたいと回答している。  
 中学生では，ボランティア活動の意欲の低下がみられる。

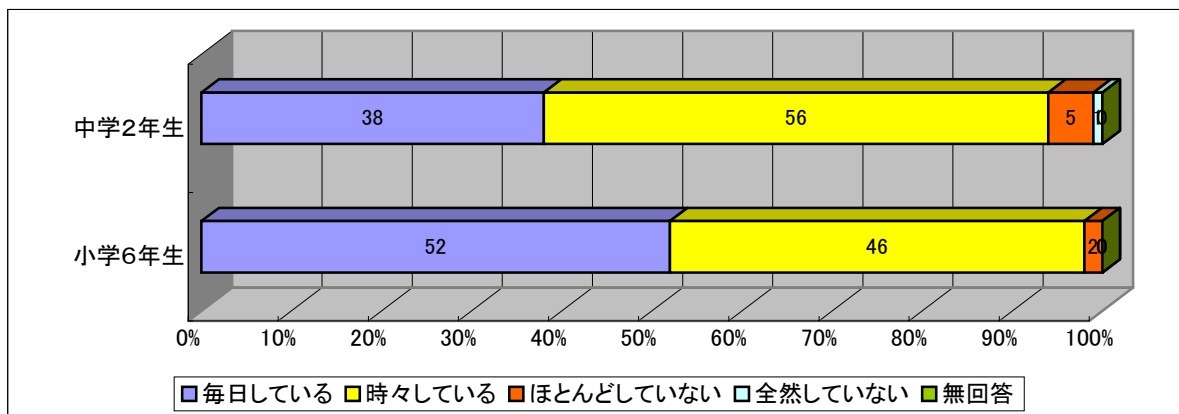
設問 5 - ( 1 ) 家庭で決まった仕事 ( 手伝い ) の有無



家庭で決まった仕事のある割合は、小学生で約7割、中学生は5割強である。中学生では、割合が減少している。

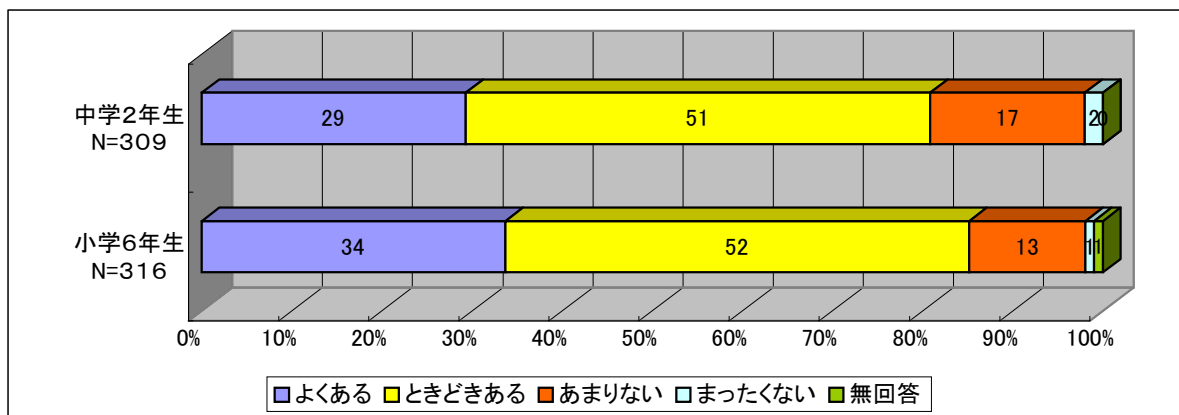
設問 5 - ( 2 ) どのくらい家庭で仕事 ( 手伝い ) を行っているか

( 設問 5 - ( 1 ) で「ある」と回答した以外の方のみ回答 )



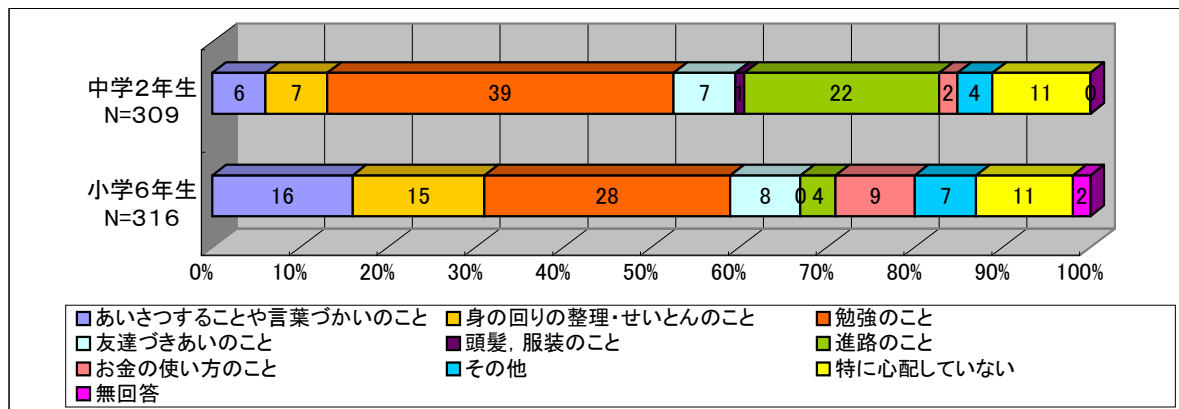
家庭で決まった仕事があると回答したうち、毎日している割合は、小学生で約半数、中学生で約4割である。

設問 5 - ( 3 ) 悪いことをして家の人に叱られた経験



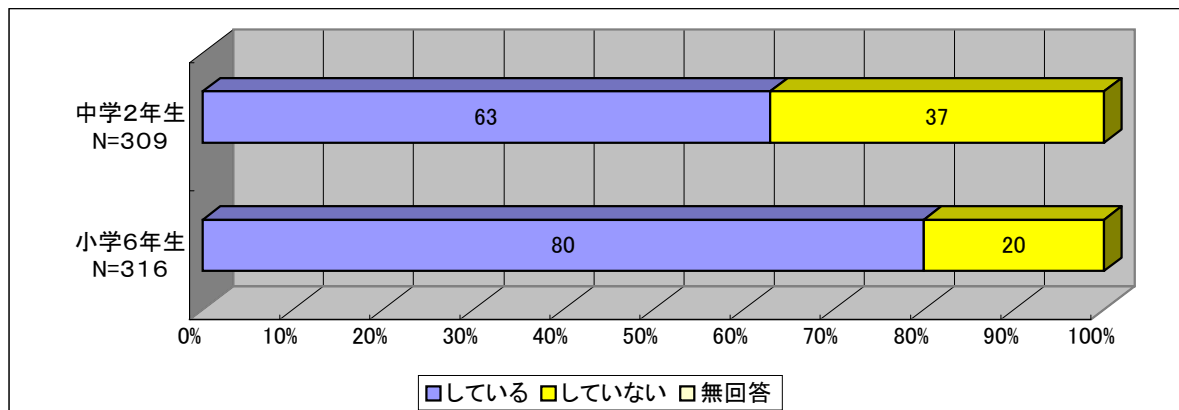
小中学生とも、8割以上が、「悪いことをして、家の人に叱られたことがある」と回答している。

設問 5 - ( 4 ) 家の人があなただのことで心配していること



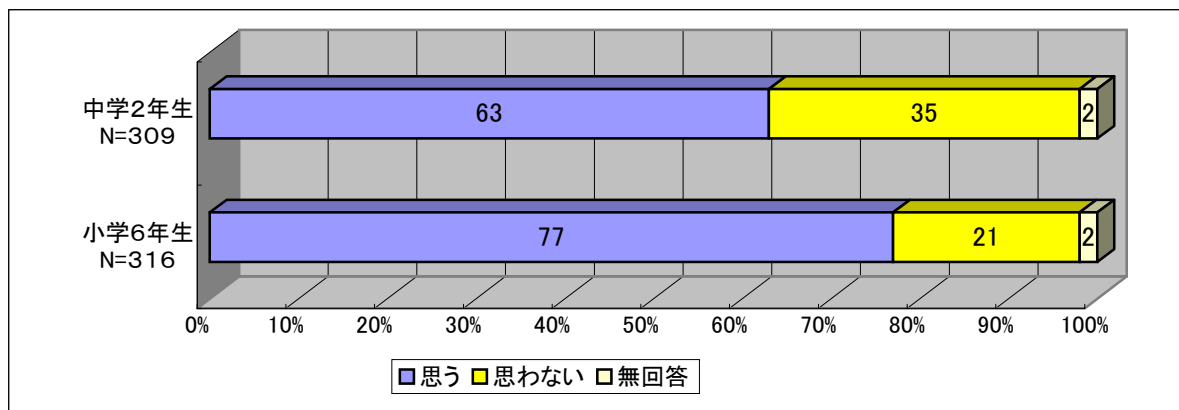
小学生はあいさつ・身の回りの整頓などや勉強，中学生では勉強や進路に関することが多い。  
小中学生ともに，勉強のことが最も多いが，小学生は基本的な生活習慣，中学生では進路に関するも多い。

設問 6 - ( 1 ) 習いごとや文化・スポーツ活動の状況



小中学生ともに既に6割以上が習い事や文化・スポーツ活動を行っている。特に，小学生が8割と高い割合を示している。

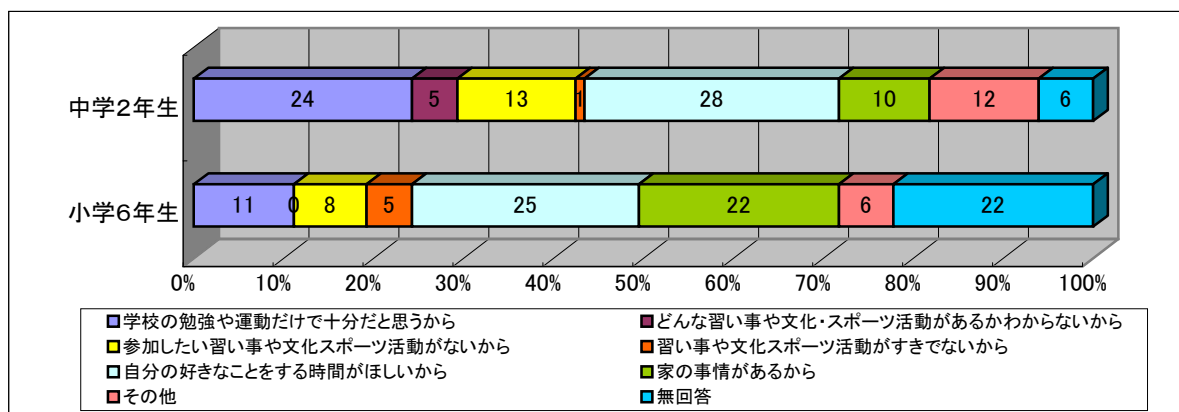
設問 6 - ( 2 ) 習いごとや文化・スポーツ活動に参加してみたいか



小中学生とも6割以上が，今後文化スポーツ活動に参加したいと回答している。特に，小学生が約8割と高い割合を示している。

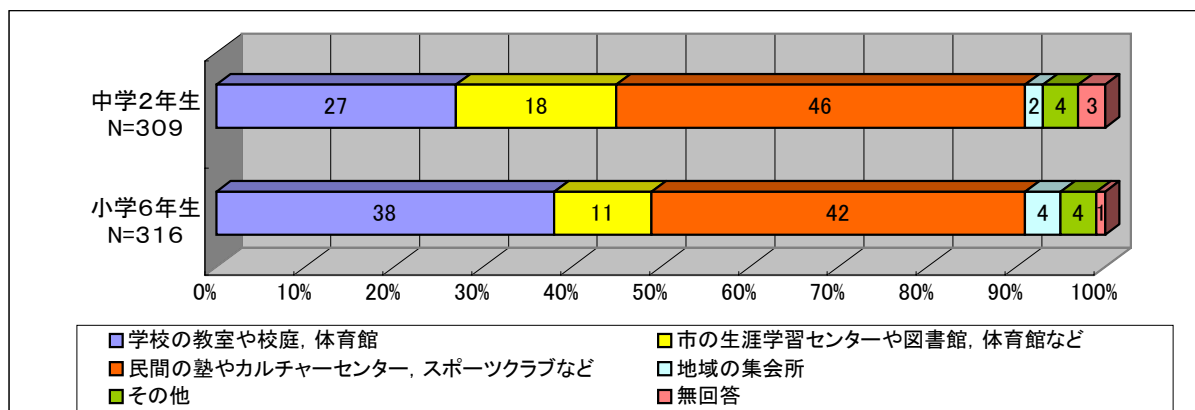
設問 6 - ( 3 ) 習いごとや文化・スポーツ活動に参加していない理由

( 設問 6 - ( 1 ) で「していない」と回答した方のみ )



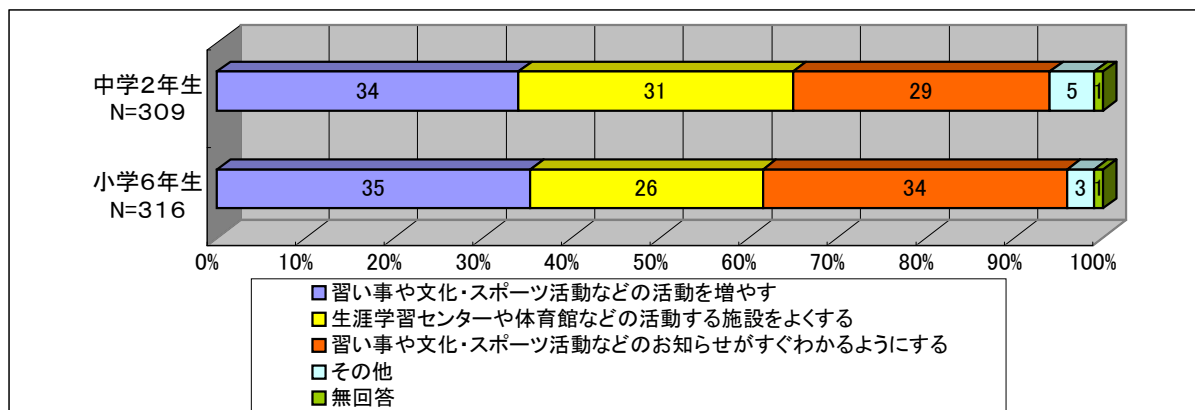
小中学生ともに、「自分の好きなことをする時間が欲しい」との回答の割合が高い。  
次いで、中学生では「学校での活動で十分」、小学生では「家の事情」が多い。

設問 6 - ( 4 ) 習いごとや文化・スポーツ活動をしてみたい場所



小中学生とも、民間施設での活動を希望する回答が最も多い。  
中学生で約 5 割、小学生で約 4 割である。次いで、身近な学校での活動を希望する回答が多い。

設問 6 - ( 5 ) 文化・スポーツ活動などを応援するために、市が支援すべきこと



小中学生とも「参加できる様々な活動を増やすこと」「施設を充実すること」「情報の発信に努めること」で回答が分かれている。